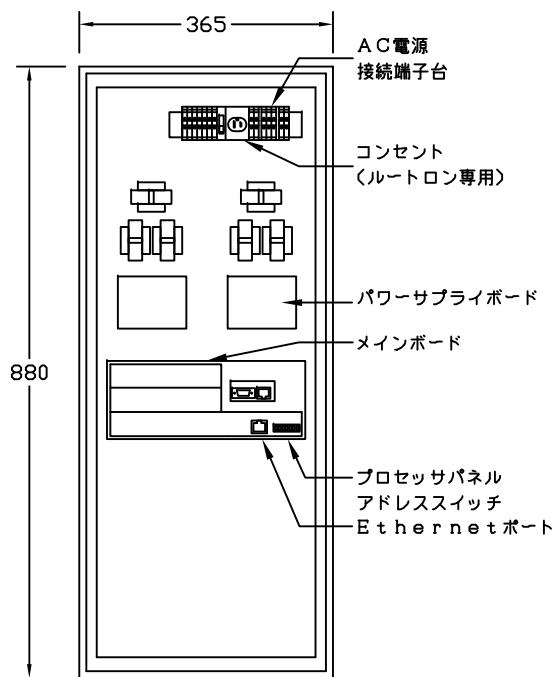


直径22mmの配線用ノックアウト
(呼び寸法16のコネクタに適合)



機能概要

グラフィック7000プロセッサパネルは、システムの中央制御盤で、プロセッサパネル1台当たり以下の機能を備えています。

1. 最大512ゾーンの管理
2. 年間自動カレンダー・スケジュール・シーケンス・パーティション・その他カスタム機能の管理
3. 最大32面のプロセッサパネルの管理
4. 最大125面の調光盤の管理
5. 1リンク最大32台のCSD (補助コントロール) ×最大6リンクの管理
6. 専用PC1台 (EM-A-CMP-L-0/別途)
7. RS232入力を標準装備
8. 最大5年間の停電補償

その他カスタム機能につきましては弊社までお問い合わせ下さい。

定格・仕様

種類	グラフィック7000プロセッサパネル
定格電源	AC100V 50/60Hz 15A (専用電源使用のこと)
接続可能機器/最大数	グラフィック7000プロセッサ -最大32面 JDP調光盤、JCP照明制御盤、GP-4調光器 -最大125面 グラフィック6000/7000CSD<補助コントロール> -最大96個 (GR7-AR-W000-M-100) -最大192個 (GR7-AR-W000-M-100) システム設定用パソコン1台
最大制御ゾーン数	プロセッサ1台あたり512ゾーン
フェードタイム設定	0~9.9秒/10秒~59秒/1分~99分
内蔵タイムクロック標準誤差	年平均±2分以内
使用周囲湿度範囲	0℃~40℃ (一般室内取付専用) 相対湿度 90%以下 (無結露)
使用電線<弱電信号線>	GRX-CBL-346S (最大延長150m) または GRX-CBL-46L (最大延長600m)
本体重量	約22kg
ケース材質	鉄製
本体色	青
取付け方法	壁掛け または 壁埋込み



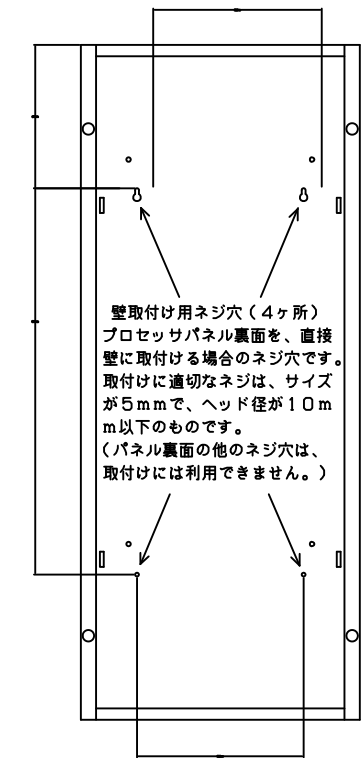
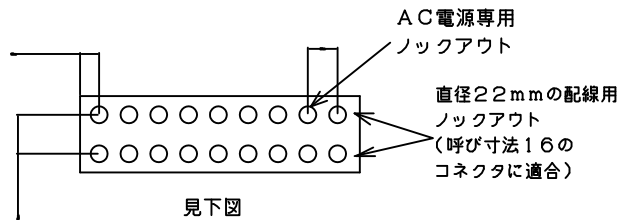
G7-JR-W000-0-100 (CSD3リンク)
G7-JR-W000-0-100 (CSD6リンク)

REVISION	1.2
RELEASED	2013/9/26
PAGE	1/5

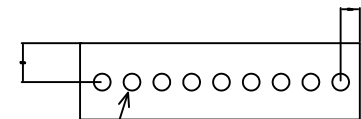
承認 (細谷) 検図 (渋谷) 作成 (浅野)

GRAFIK7000 グラフィック 7000 シリーズ
プロセッサパネル 仕様書

壁への取付け



背面図



見上図

直径22mmの配線用ロックアウト (呼び寸法16のコネクタに適合)

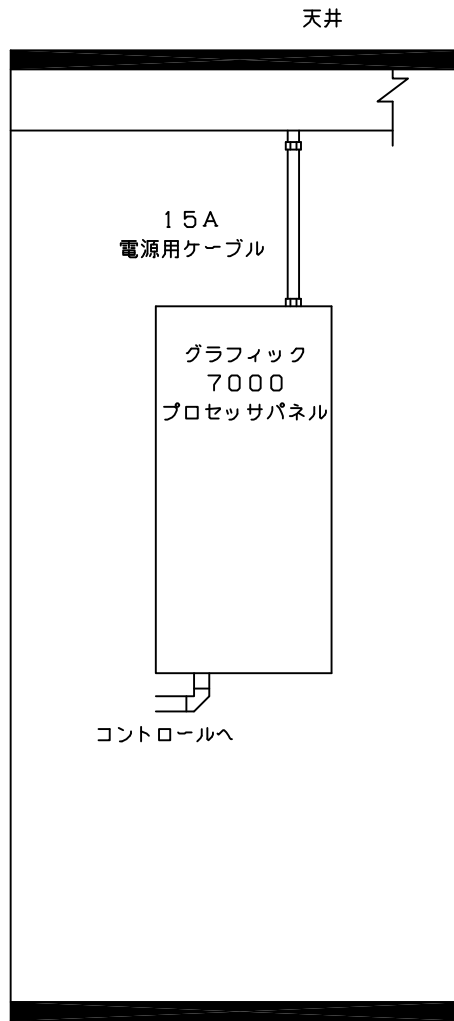
直径22mmの配線用
ロックアウト
(呼び寸法16の
コネクタに適合)

取付け用ネジ穴
(4ヶ所) プロセッサ
パネルを壁に埋め込み、
パネル横面を支柱に固
定し取付ける場合のネ
ジ穴です。取付けに適
切なネジは、サイズが
5mmのものです。

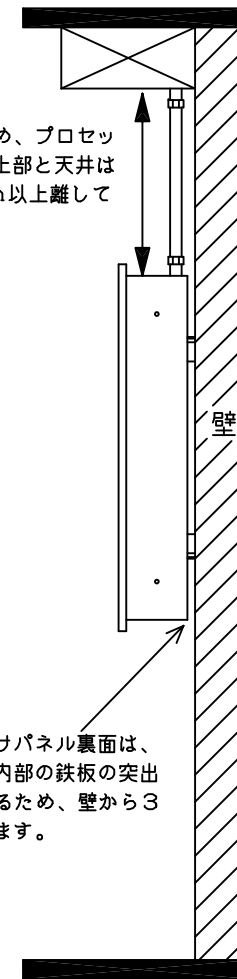
プロセッサパネル
ボックス内部鉄板の
突出部分

側面図

壁に直接取付ける場合



正面図



側面図

通風のため、プロセッサ
パネル上部と天井は
150mm以上離して
下さい。

プロセッサパネル裏面は、
ボックス内部の鉄板の突出
部分があるため、壁から3
mm離れます。



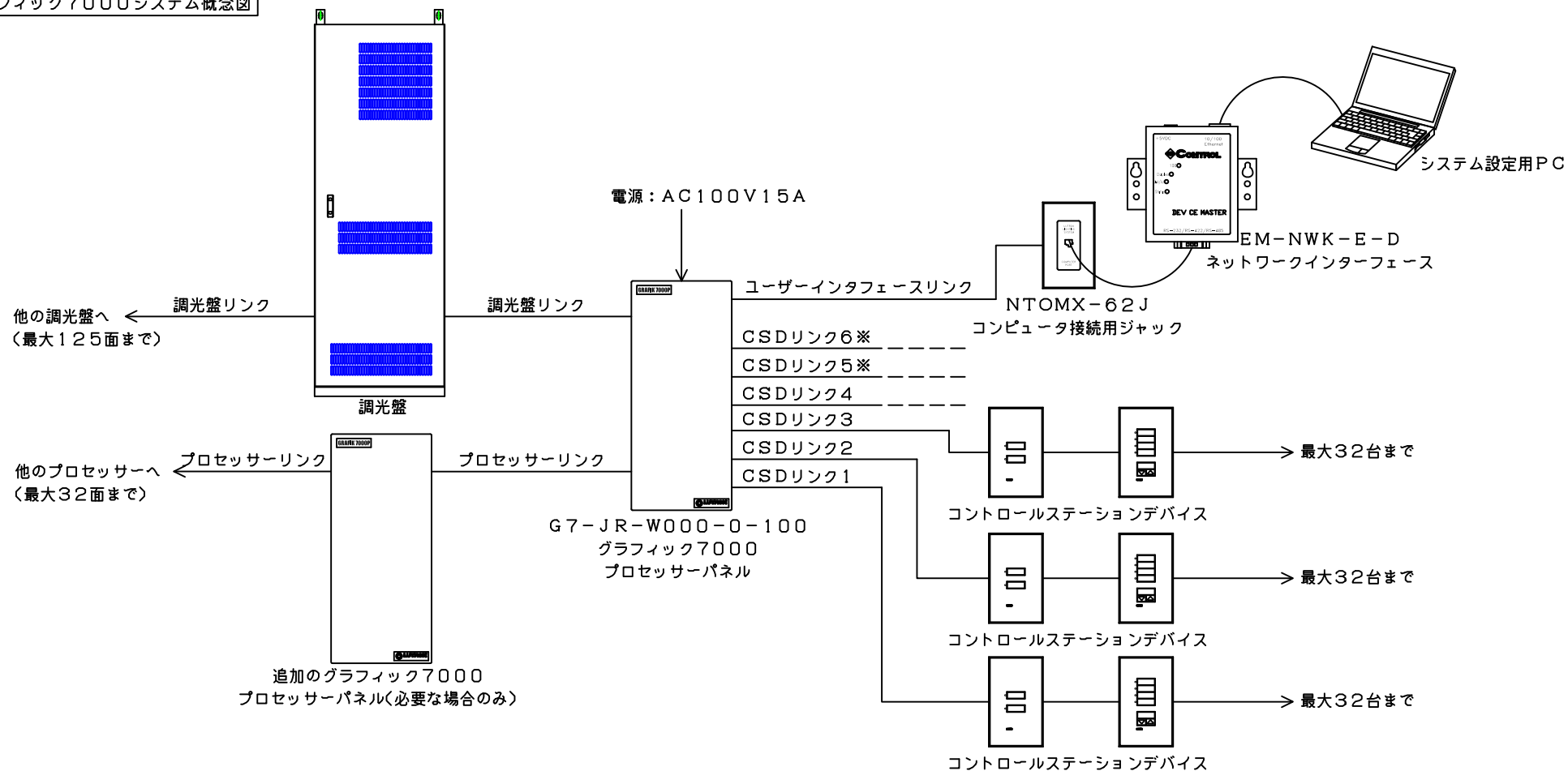
G7-JR-W000-0-100 (CSD3リンク)
G7-JR-W000-0-100 (CSD6リンク)

REVISION	1.2
RELEASED	2013/9/26
PAGE	2/5

承認 (細谷) 検図 (渋谷) 作成 (浅野)

GRAFIK 7000 グラフィック 7000 シリーズ
プロセッサパネル 取付説明

グラフィック7000システム概念図



注意事項

1. 本器は、調光盤及び補助コントロール等に接続するもので、単体での使用はできません。
2. CSDリンクおよびユーザーインタフェースリンクの配線は、配線の最大長を超えないようにして下さい。
3. CSDリンク、ユーザーインタフェースリンク、及び調光盤リンクのケーブルを他の強電電線と一緒に束ねないで下さい。
4. 各調光盤、調光器、コントローラ類の配線は全て送り配線としてください。

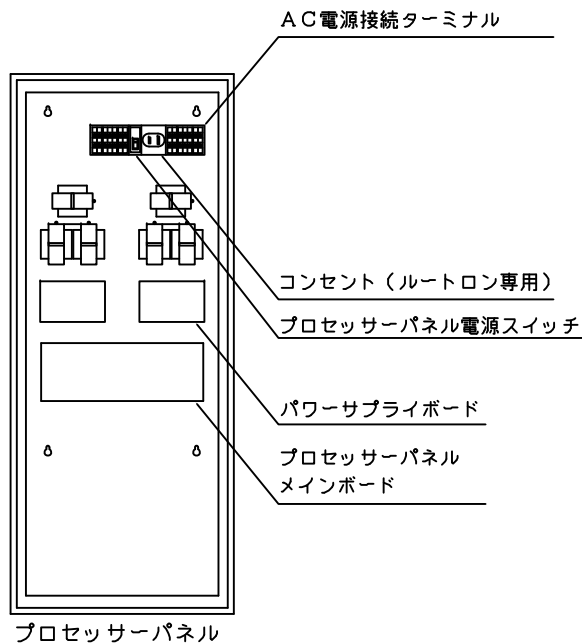
ユーザーインタフェースリンク及びウォールステーションコントロールのケーブル仕様:

電源線とデータ線	最大リンク長
ルータロンケーブル GRX-CBL-46L (推奨)	600mまで
ルータロンケーブル GRX-CBL-346S	150mまで

※G7-JR-W000-0-100の場合のみ

<p>ルータロン アスカ株式会社</p>		G7-JR-W000-0-100 (CSD3リンク)	REVISION	1.2
		G7-JR-W000-0-100 (CSD6リンク)	RELEASED	2013/9/26
承認	検図	作成	PAGE	3/5
細谷	渋谷	浅野	GRAFIK7000 グラフィック 7000 シリーズ プロセッサパネル システム概念図	

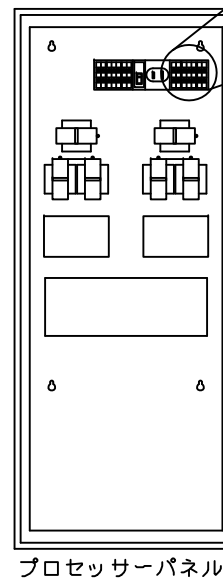
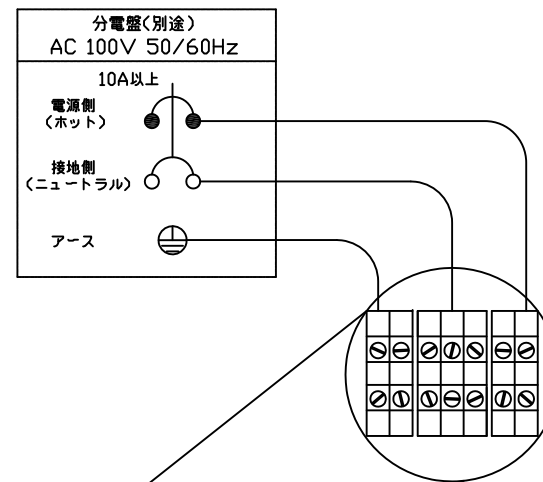
各部の名称



プロセッサパネル 電源の接続

注意事項

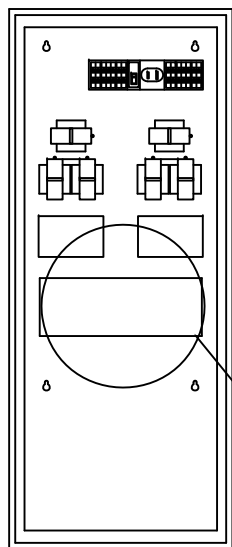
1. 各種リンクの電線は、AC電源線と一緒に束ねないで下さい。
2. 本器の電源には専用電源を使用して下さい。他の機器と共通の電源は使用しないで下さい。
3. 本器に内蔵されるコンセントはルートロン機器（システム設定PC等）専用です。他の機器は接続しないで下さい。



<p>LUTRON ルートロン アスカ株式会社</p>		G7-JR-W000-0-100 (CSD3リンク)	REVISION	1.2
		G7-JR-W000-0-100 (CSD6リンク)	RELEASED	2013/9/26
承認	検図	作成	PAGE	4/5
細谷	渋谷	浅野	GRAFIK7000 グラフィック 7000 シリーズ プロセッサパネル 配線図	

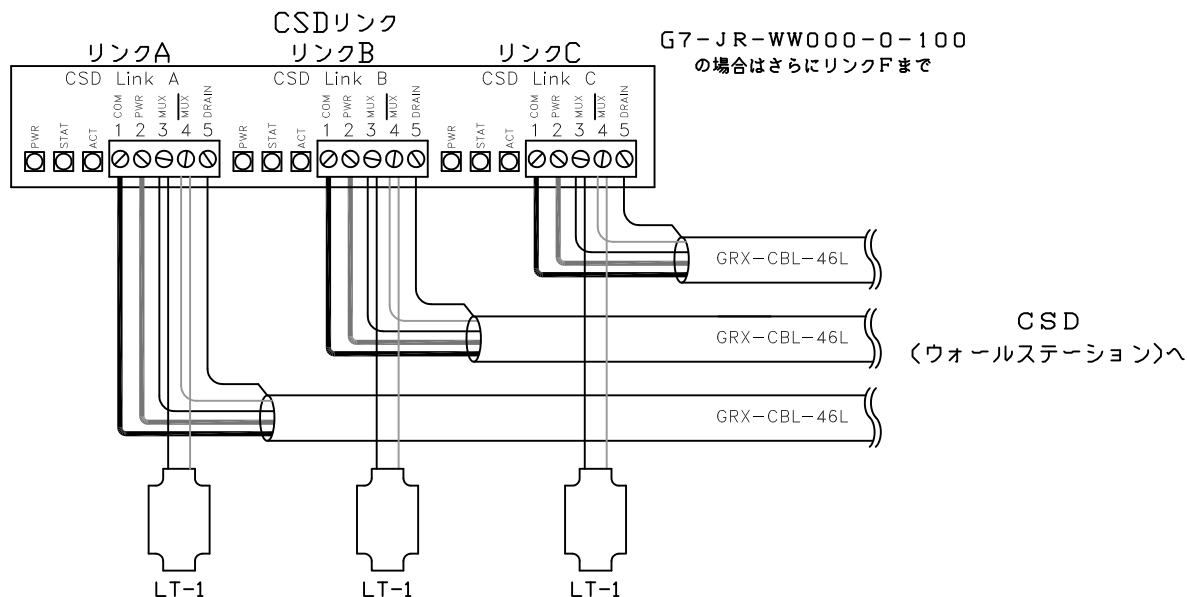
各弱電信号線配線図

1. 各種リンクの電線は、AC電源線と一緒に束ねないで下さい。誤動作の原因になります。
2. 各リンクのケーブル仕様および最大長については、別紙グラフィック7000プロセッサパネルの弱電信号線配線図1を参照して下さい。
3. ユーザーインターフェースの配線図は、別紙コンピュータ接続用ジャックNTOMX-62J-JA-のスペックシートを参照して下さい。
4. ルートロンケーブルは、各端子台に下記のとおり使用して下さい。
 1. 黒 (コモン)
 2. 赤 (DC24V)
 3. 紫 (MUX/データ線+)
 4. 白 (MUX/データ線-)
 5. オレンジ: システム内にAC/GC盤がある場合のみ
 裸線: ドレイン
5. 各リンクは、一筆書きになるように配線して下さい。
6. 各リンクの両方の末端には必ずLT-1 (終端抵抗) を接続して下さい。LT-1を接続しないと、誤動作の原因となります。

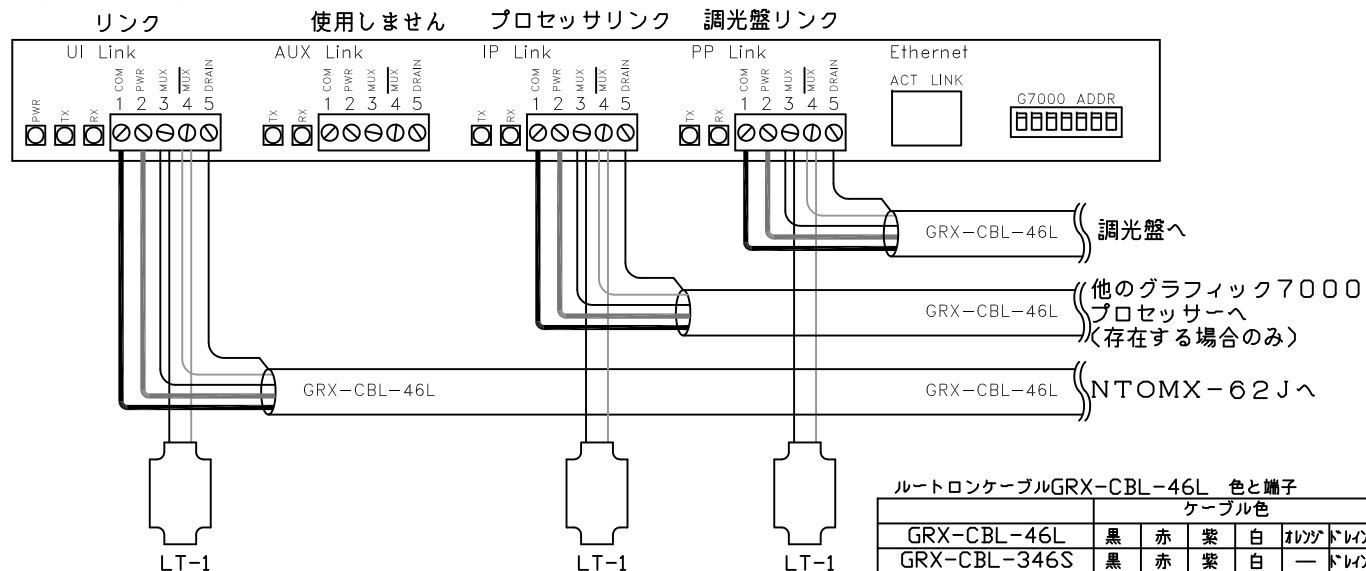


プロセッサパネル
メインボード

プロセッサパネル



ユーザーインターフェース



ルートロンケーブルGRX-CBL-46L 色と端子
ケーブル色

ケーブル色	黒	赤	紫	白	オレンジ	ドレイン
GRX-CBL-46L	黒	赤	紫	白	オレンジ	ドレイン
GRX-CBL-346S	黒	赤	紫	白	—	ドレイン
JDP/JCP/GP-4 端子番号	1	2	3	4	<5> ※1	D
コントロール・ジョイ・イグナーフェス 端子番号	1	2	3	4	—	—

※1 システム内にAC/GC盤が存在する場合のみ



G7-JR-W000-0-100 (CSD3リンク)
G7-JR-W000-0-100 (CSD6リンク)

REVISION	1.2
RELEASED	2013/9/26
PAGE	5/5

承認 (細谷) 検図 (渋谷) 作成 (浅野)

GRAFIK7000 グラフィック 7000 シリーズ
プロセッサパネル 弱電信号線 配線図